

厚岸町海事記念館通信

発行 厚岸町海事記念館

〒088-1151 厚岸町真栄3丁目4番地

TEL & FAX 0153-52-4040

<http://www.town.akkeshi.hokkaido.jp/kaiji>

No.22

2010年12月発行

文化財歴史講演会が行われました

10月23日(土) 海事記念館2階プラネタリウム室で、文化財歴史講演会が行われました。釧路短期大学佐藤宥紹教授が「厚岸町の文化財～そのメッセージと活かす道」という題で、厚岸町にある文化財、国指定史跡や重要文化財を例に、それらを観光などで、どのように活用するかということをお話して下さいました。



ほしぞら教室が終了しました

10月27日(水) 太田小学校のグラウンドでほしぞら教室が実施されました。当日は始まる直前まで雲がかかり、実施できるか不安でしたが、なんとか星空が出てくれました。今年も釧路市子ども遊学館の多胡さんと佐野さんが秋の星座(ペガサス座・くじら座など)や夏の星座(夏の三大角など)について解説してくれました。この日は10月下旬にしてはとても寒く、その中で観察会となりましたが、きれいな星空が見られて参加者のみなさんも喜んでくれました。



ふるさと教室が実施されました

11月6日(土) ふるさと教室が実施されました。今年のふるさと教室は弟子屈町を訪れました。川湯エコミュージアムセンターでは弟子屈町の自然について解説をして頂き、硫黄山では釧路まで硫黄を運ぶ汽車の模型を見て、摩周観光文化センターの更科源蔵文学資料館では、文学者でありアイヌ語地名の研究者でもある更科源蔵の事績を学ぶというとても内容の濃い1日でした。更科源蔵はアイヌ語地名だけでなく、アイヌの神話などでも厚岸町のことを研究しています。

参加者の皆さんも弟子屈町の自然や歴史、厚岸町ともゆかりがある更科源蔵のことを学ぶことができ、満足していただけたと思います。来年もみなさまの参加お待ちしております。



職場体験に来ました

厚岸中学校と真龍中学校の生徒が職場体験に来ました。2校とも各4名ずつの参加で、期間は厚岸中学校は10月19日(火)・20日(水)、真龍中学校は21日(木)・22日(金)とそれぞれ2日間でした。今回はアッケシソウの種取り、土器の修復、プラネタリウムの操作などを体験してもらいました。中学生にとっては初めての仕事でしたが、慣れない作業にも関わらず、皆一生懸命行ってくれました。



厚岸かぐらが披露されました

11月7日(日)第11回厚岸町障害者(児)ふれあいフェスティバル「こう福祉21」で厚岸かぐらが厚岸かぐら同好会と厚岸かぐら少年団により披露されました。演目は「助六舞」「恵比寿舞」「獅子舞」「餅搗き舞」の4つで、「餅搗き舞」で搗いたお餅を会場の皆さんに振る舞いました。搗きたてのお餅は会場の皆さんにも好評でした。



イトカワのものと断定！！



2003年5月9日に打ち上げられた『小惑星探査機「はやぶさ」』は、目標の『小惑星「イトカワ」』に到着し科学観測を実施し、「はやぶさ」搭載の帰還カプセルが2010年6月13日に約7年の旅を終え地球に戻りました。

宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、帰還カプセルにより持ち帰った微粒子を分析した結果、1500個程度の微粒子を岩石質と同定し、地球上の岩石と合わないことから、そのほぼ全てが地球外物質であり小惑星「イトカワ」のものと断定しました。

海事記念館では、このような惑星探査や宇宙開発に関する映像をJAXAから定期的にDVDで提供を受けています。映像は海事記念館ホールにあるテレビで見ることができますので、興味を持たれている方は是非ご覧ください。

なお、JAXAホームページ(<http://www.jaxa.jp>)でも同様の映像を見ることができますのでアクセスしてみてください。